

自己点検・評価報告書2021・2022 全学報告会

## 2. 工学部・工学研究科について

発表者 工学部長 佐藤 利文

### 4.1.1.授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針の適切な設定

#### 【工学部のディプロマ・ポリシー】

1. 工学の各分野の**専門的な知識と技術**を有し、活用できる。
2. 工学部の学問的基盤となる**関連分野**を学際領域的に把握している。
3. 工学についての基礎的な**知識・技術**、**情報リテラシー**、**数量的スキル**、**表現スキル**を有し、活用できる。
4. 多様な人々、社会、文化に関する**幅広い知識と教養**を有している。
5. **コミュニケーション力**や**論理的思考力**、**自己管理能力**等の汎用的な技能を有し、実践できる。
6. **リーダーシップ**や**メンバーシップ**、**健全な倫理観**等の社会に必要な態度を有している。
7. これまで修得した**知識・技能・態度**を総合して、**正しく整理し、伝えることができる**。
8. 自ら継続的に学び、**自己を成長させるスキルと志向性**を有している。

### 4.1.1.授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

#### 【工学研究科のディプロマ・ポリシー】

##### 博士前期課程

1. 技術分野に関する体系的な専門知識・技術を身につけ、それらの妥当性を理論的に説明し、議論できる。
2. 研究・開発を進めるにあたり、問題点・課題を的確に抽出する能力、及び問題の具体的解決方法を見出せる。
3. 知識・技術及び問題発見・解決能力を、与えられた状況に応じて、的確に活用・応用できる。
4. 科学技術を進歩・発展させるための幅広い見識と健全な倫理観と態度を有する。

##### 博士後期課程

1. 社会一般を背景にした問題認識・抽出能力を有し、課題の社会的、学術的価値を的確に評価できる。
2. 専門分野における高度、かつ体系的な学識を有し、必要に応じて他分野の知見を自ら修得できる。
3. 問題解決のために、既存の理論体系との関係を明確にした新たな理論を構築できる。
4. 問題解決に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、及び語学力を有する。
5. 高度な研究内容に即した適切な倫理観と態度を有する。

### 4.1.2.授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

#### 【工学部のカリキュラム・ポリシー(抜粋)】

##### 1. 教育課程と内容

①初年次教育・自校教育科目、②キャリア教育科目、③教養科目、④専門基礎科目、⑤専門科目に分類

##### 2. 教育方法

①必修科目・選択必修科目・選択科目を適切に配置

②専門基礎科目・専門科目を、講義科目と、演習・実験科目を連携的・系統的に配置。

③専門科目は全コースの科目から横断的な履修を可能する。

④教養科目は、対話や表現を求める授業を実施する。

⑤専門基礎科目と英語は、習熟度別にクラスを分け、きめ細やかな指導を行う。

⑥広く協同的な学びを実践する機会を設ける。

##### 3. 学修成果の評価

①到達目標や成績評価の基準と具体的評価方法をシラバスに明示して、公正で厳格な成績評価を実施

②総合的な学修成果は、卒業論文等の成果をもとに総合的評価を行う。

### 4.1.2.授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

#### 【工学研究科のカリキュラム・ポリシー(抜粋)】

##### 【博士前期課程】

#### 1. 教育課程と内容

- ①共通科目、②関連科目、③専門分野科目に分類

#### 2. 教育方法

- ①共通科目・関連科目・専門科目を適切に配置
- ②共通科目は専門領域の実験や研究のための科目を配置。
- ③関連科目は自己理解、職業理解を深める科目やコミュニケーション能力を涵養す科目を配置。
- ④専門分野科目は、専門領域の研究を深化させるための講義科目を配置。

#### 3. 学修成果の評価

- ①到達目標や成績評価の基準と具体的評価方法をシラバスに明示して、公正で厳格な成績評価を実施。
- ②中間発表会、最終の研究発表及び学会発表等における成果をもとに総合的評価を行う。

##### 【博士後期課程】

#### 1. 教育課程と内容

- ①共通科目、②専門分野科目に分類

#### 2. 教育方法

- ①共通科目・専門科目を適切に配置
- ②共通科目は専門領域の実験や研究のための科目を配置。
- ③専門分野科目は、専門領域の研究を深化させるための講義科目を配置。

#### 3. 学修成果の評価

- ①学位論文、学術誌への研究論文発表等における成果をもとに総合的評価を行う。

### 4.1.3.教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。

#### ①各学部・研究科において適切に教育課程を編成するための措置

- イ)教育課程の編成にあたっての順次性・体系性への配慮
- エ)個々の授業科目の内容及び方法
- カ)各学位課程にふさわしい教育内容の設定

#### ②学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育の実施

1. キャリア教育
2. 外部資格の単位認定
3. インターンシップ

### 4.1.4.学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。

ア)単位の実質化を図るための措置：

CAP制(総合工学系年間40単位以内、建築学系44単位以内)

イ)シラバスの内容：

統一フォーマットによる均一化、教務委員会での点検し、改善を図る

エ)学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法

・「学修技術と自己管理」、

・ルーブリックをGoogle Classroomで管理し学生と教員が学修を確認できる

オ)学生の理解度を課題、レポート、小テストを実施することにより把握

カ)履修指導・学習指導：

カリキュラムアドバイザー制度

ケ)研究指導計画の明示：履修要綱に記載し、計画に沿った研究指導を実施

### 4.1.5.成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。

#### ①成績評価及び単位認定を適切に行うための措置

1. 学則、規程に基づく成績評価
2. GPA制度
3. シラバスに成績評価基準を明示
4. 成績評価の照会

#### ②学位授与を適切に行うための措置

1. 規程に基づく学位授与
2. 複数の審査員による学位審査



### 4.1.6. 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。

#### アセスメント・ポリシーに基づく、学修成果の測定

##### 【その他の測定方法】

- ・学外発表やコンペティション
- ・授業評価アンケート
- ・ルーブリックを活用した学習成果の測定
- ・卒業生アンケート結果を反映したカリキュラム改善
- ・学外のアセスメントテストの実施

**4.1.7.教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

教育課程及びその内容、方法は、年度当初に教務委員会で活動方針を立て、その適切性について年度末に点検・評価を行っている。

例えば、工学部教務委員会では、学修成果の測定結果を利用した教育内容や教育方法の適切性について、アセスメントテストやアンケート結果を利用した検証を行い、改善・向上に向けた取り組みを行っている。

### <問題点>

- (1) 成績評価に関する事項については、学則及び各学部の学修に関する規程により定められているが、全学的な成績評価に係る規程が制定されていない。全学で統一的な成績評価指標の策定を検討する必要がある。
- (2) ルーブリックについては、教育分野の特質上、評価項目として表しづらい感性の部分等をどのように表現するか等の問題を抱えており、更なる改善が必要である。
- (3) 教育の実施状況の把握について、内部質保証委員会と課題改善部会によるPDCAサイクルは構築されているが、教学マネジメント部会が学修成果の把握と可視化により部局の支援を行う仕組みを整備する必要がある。

7.1.2.学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。

## ①学生支援体制の適切な整備

修学支援：教務委員会 ↔ 教務課 ↔ 学修支援センター

学生支援：学生委員会 ↔ 学生課 ↔ 健康管理センター  
学生支援センター

## ②学生の修学に関する適切な支援の実施

学生の能力に応じた  
補習教育

オンライン教育

多様な学生への支援

成績不振者対応

退学者への対応

経済的支援

7.1.2.学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制は整備されているか。また、学生支援は適切に行われているか。

### ③学生の生活に関する適切な支援

学生相談

心身の健康  
保健衛生

### ④学生の進路に関する適切な支援の実施

支援体制

進路選択にかかわる  
支援

# 全体のまとめ

## <工学部・工学研究科の教育課程・学習成果>

- ①ディプロマ・ポリシーに基づき、教育課程の体系、教育内容、授業科目区分、授業形態等を示したカリキュラム・ポリシーを定め、公表している。(学部・院)
- ②カリキュラム・ポリシーに基づき、授業内外における学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じている。その一環として、履修指導を適切に行っている。(学部・院)
- ③ディプロマ・ポリシーに示した知識、技能、態度等の学習成果を学生が修得したかどうかを把握し、評価している。(学部・院)

## <工学部・工学研究科の学生支援>

学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることを支援する体制を整備している。

- ①学生の能力に応じた補習教育、補充教育を行っている(学部)
- ②大学独自の奨学金、学外の奨学金等を通じた経済的支援を充実させている(学部・院)
- ③キャリア支援に関する組織体制を整備し、進路選択に関わる支援やガイダンスを実施している(学部・院)